

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

タマネギべと病の防除対策について

2月上旬の調査で、早生品種及び中晩生品種でべと病の一次感染株（越年罹病株）の発生を確認しました。今後の気象条件によっては、一次感染株の発生増加と二次伝染による発生拡大が懸念されます。ついては、下記を参考に、一次感染株の速やかな抜き取りと、継続的な薬剤の予防散布の徹底について、生産者への指導をお願いします。

記

1. 発生概況（令和6年2月6～8日調査）

(1) 定期調査における一次感染株の発生は2月上旬に初確認され、平均発生株率は、早生品種の10圃場では0.02%（発生圃場率10%）、中晩生品種の10圃場では0.01%（発生圃場率は10%）であった（図1、2）。

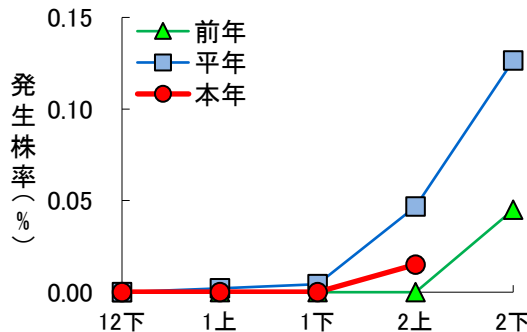


図1 早生タマネギでのべと病の発生推移

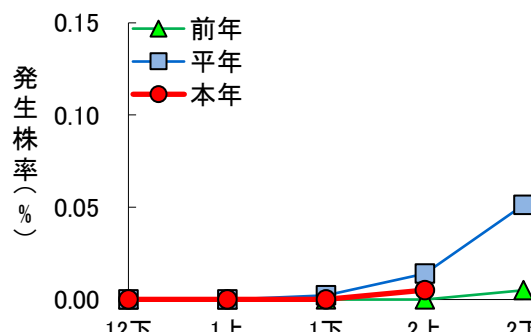


図2 中晩生タマネギでのべと病の発生推移

2. 気象に基づく今後の発生予測

2月上旬に、本病の感染に好適な条件が既に出現しており、潜伏期間の後に発病する可能性がある（表1）。また、福岡管区气象台が2月8日に発表した九州北部地方の1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並だが、2月17～23日にかけては曇りや雨の日が多い予想であり、今後さらに感染好適条件が出現する可能性がある。

表1 タマネギべと病二次伝染推定モデルによる感染・準感染好適気象条件の出現状況

日付		2月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
出現状況 ^{注1)}	佐賀	◎		○	○	○	○						
	佐世保	◎		○	◎	○	○	○					
	福岡	◎		○	◎	◎	○	○					
	熊本	◎		○	◎	◎							
出現地点数 ^{注2)}		4	0	4	4	4	3	2	1	0	0	0	0

注1) 北部九州4地点（佐賀市、佐世保市、福岡市、熊本市）のうち、感染または準感染好適条件の出現状況を表す。◎は感染好適条件、○は準感染好適条件の出現を表す。

注2) 4地点のうち、感染か準感染好適条件が出現した地点数を表す。

3. 防除対策

(1) 一次感染株の抜き取り徹底

一次感染株は周囲への伝染源となるため、**圃場の見回り**をこまめに行い、発生を認めた場合には**直ちに抜き取る**。抜き取った株は圃場に放置せず適切に処分する。

(2) 薬剤防除による二次伝染の予防

タマネギは、鱗茎肥大期以降べと病に感染しやすくなるため、最新の気象予報や図3を参考に、**生育ステージに応じた予防防除**を行う。防除対策の詳細については、佐賀県病害虫防除のてびき〈麦類・野菜・花き・飼料作物〉を参照する。

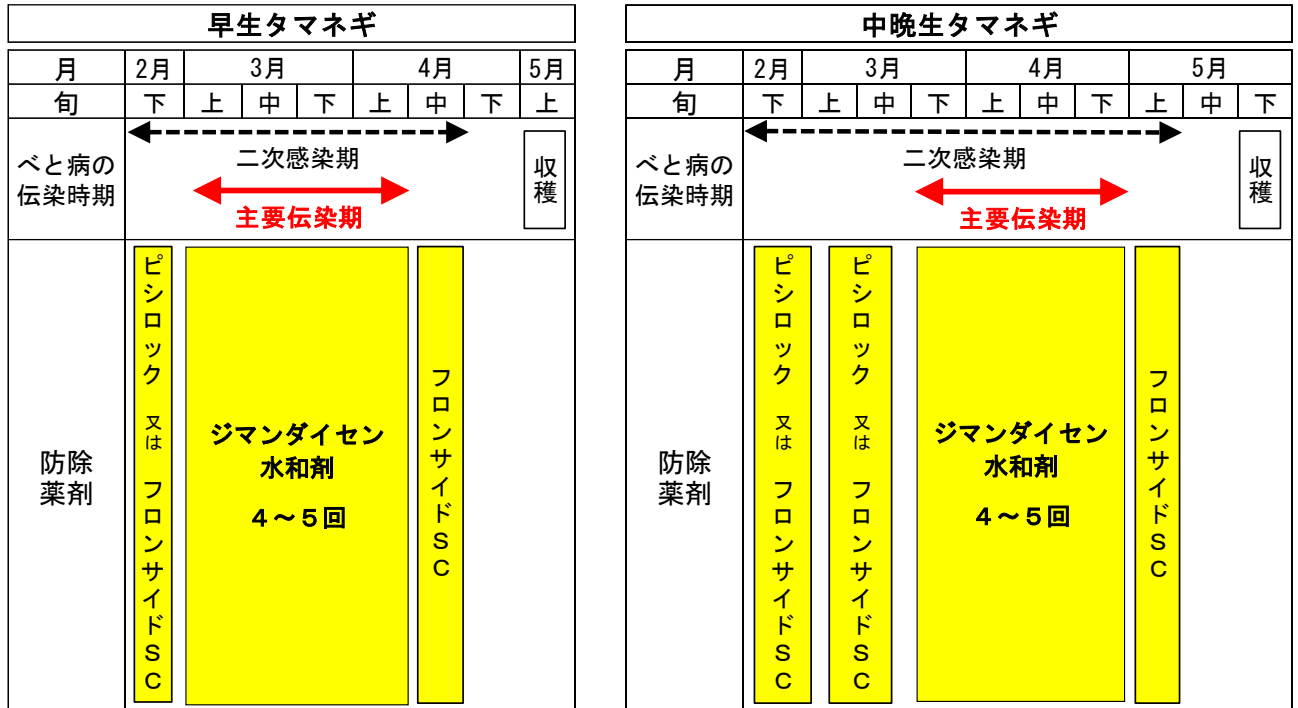


図3 タマネギべと病の伝染時期と薬剤防除体系（例）

【ジマンダイセン水和剤散布にあたっての留意事項（各作型共通）】

- (1) 10日間隔での4~5回散布を基本とするが、前回散布の7日後以降に曇雨天が予想される場合は、前倒しで散布を行うなどして、**雨前の散布を徹底**する。ただし、防除効果を安定させるため、散布から降雨までの時間を、少なくとも24時間は確保する。
- (2) 本剤には、展着剤として、ミックスパワー、まくぴか、ニーズ、ササラのいずれかを加用する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

防除のてびき掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321928/index.html>

防除セQRコード^{*} てびきQRコード^{*}

